



はじめの一步

新中学1年生の英語事情・・・小6の保護者様必見！

コロナの衰えが見えないまま、卒業まで3ヵ月弱。春先の休校がなかったかのように小学校の学習は着々と終わりに近づいています。今年度から評価対象となった英語も予定通り進んでいます。学校のテストを見てみると、ほとんどが音声聞いて答える問題になっていて、単語の習得はさほど求められていません。しかし！！実はここに大きな落とし穴があるんです…。今年の4月より、中学校の指導要領が改定されます。つまり、中学校の教科書がリニューアルするんです。前もって計画されていたことですが、驚かされたのは、**中1英語のレベルとボリュームがグッと上がったこと**です。これまではみんなで一斉に英語学習をスタートしてきたので、中1の中間テストはアルファベットの大文字・小文字・自分の名前が書ければある程度の点数がとれるものでした。しかし、今年の4月に入学する現小6の子たちは、小学校での英語学習を踏まえてスタートされるため、**たくさんの単語が書けることは当たり前、多くの文法を理解し、たくさんの文章の読み書きをする力**が1学期から要求されます。

	これまで	新学習指導要領
小学校	—	600～700語
中学校	1200語程度	1600～1800語
高校	1800語程度	1800～2500語
合計	3000語程度	4000～5000語

中学卒業までに
扱う単語が
約2倍に！

※小学校～高校で扱う単語数の変化

ONE STEPでお預かりしている小6生の授業内容紹介

ONE STEPに通う小学生の大半は国語・算数で通塾してくれています。今年度、小学校での英語の教科化に合わせ、国語の半分の時間を英語学習に充ててきました。学校の教科書に準じたワークを使用し、リスニングの練習・文法演習等を行ってきました。小6に進級して間もなくは、アルファベットを4本線ノートに書くこともやっとでしたが、今ではアルファベットの書き方にも慣れてきました。1年間先取りしてきた成果は確実にあります。11月まではリスニングに重きを置いてきましたが、**中学校の英語教科書の詳細が明るみになってからは、すぐに単語練習も追加していきました**。そして、卒業までに**『100の単語を読み書きできること』**、**『20の基本例文を暗唱すること』**を目標に取り組んでいます。3月からは中学の予習を始めていきます。

漢字練習を繰り返したように…英語もたくさん書くしかない

上の記事を読まれて、慌てて本屋に走る必要はありません。中学1年生の予習を…と購入されても、今並んでいるものは指導要領が改定される前のものになります。では、何をしたらいいのでしょうか？まず、**4本線のノート(13段程度)を用意して、アルファベットを大文字・小文字で書く練習から始めましょう**。お手本を見ずに書けるようになったら、次に小学校の英語の教科書を開いて、**基本例文をノートに書いてみましょう**。意味を振り返りながら練習して下さい。とにかくたくさん書く練習をして、英語の書き方に慣れていきましょう。これまでは部活動に慣れた秋口に中1のお問合せが多かったですが、次年度は中学入学と同時に英語の学習に後れをきたすことも予測されます。**中学入学前に英語をスタートされることをお勧めします。**

ごあいさつ

こんにちは
ONE STEPは**個別指導の目標達成塾**です。地域密着にて地域ナンバー1の塾を目指しております。地域密着なので、近隣の小・中学生が**自分の目標に向かって前向きに自分のための勉強をしていける**よう・保護者様がそんな子どもの姿を見て**安心**してもらえるように学習面において『少しでも力になればら・・・』と思い、このように教育情報をお配りしております。
子どもたちが**自分に自信**を持って、普段の生活を送れるようになるのもっともっと元気で活気のある子どもがこの地にも増えてくると信じています！
小さい塾なので、大きなことはできませんが、**小さなことこそ大切**にしている地域に根差した**個別指導型**の学習塾です。